

【共同代表談話】

立憲民主党の設立を歓迎し、緑・リベラルの結集を呼びかけます

2017年10月3日

緑の党グリーンズジャパン共同代表 長谷川羽衣子  
松本なみほ  
中山 均  
長谷川平和

10月2日、民進党の枝野幸男代表代行が、新党・立憲民主党の結党を表明しました。

私たち緑の党は、この立憲民主党の結党を歓迎します。そして、立憲民主党を軸とする緑・リベラル勢力結集を呼びかけるとともに、その一翼を担います。

安倍首相は政治情勢が自党に有利だと見なし、大義や正当性のないまま、臨時国会冒頭での解散を強行しました。ところが与党の思惑は、希望の党への民進党の事実上の合流で大きく覆され、いまや「政権選択選挙」の様相を呈しています。しかし、「改革保守」を自認し、民進党議員を「安全保障政策」で選別する希望の党が、自民党の対抗勢力とされる政治状況には大きな危機感を抱かずにはられません。

また、希望の党の誕生と民進党の事実上の解党・合流は、「リベラル」政治勢力の不在をもたらし、これまでの「野党共闘」の枠組みも成立しなくなるため、多くの市民が投票先を失うところでした。立憲民主党の結成は、巨大な右派勢力と共産党との間に存在すべきリベラルな政治空間を拡大し、それに期待する多くの市民の受け皿として、大きな意義を持ちます。

緑の党は重ねて立憲民主党を軸とする緑・リベラル勢力の結集を呼び掛けるとともに、「立憲勢力で3分の1の確保」をめざし、全力を尽くします。